

2022年11月17日

各 位

会 社 名 ラクオリア創薬株式会社
代 表 者 名 代表取締役 武内 博文
(コード番号：4579)
問 合 せ 先 取締役 須藤 正樹
(TEL. 052-446-6100)

事業計画及び成長可能性に関する事項の修正に関するお知らせ

当社は、昨今の事業環境の変化及び事業の進捗に基づいて売上・損益目標を見直した結果、2022年2月14日に公表し、2022年8月15日に修正した事業計画（『事業計画および成長可能性に関する事項（2022年12月期～2024年12月期）中期経営計画2022-2024』）を下記のとおり変更いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 売上・損益目標見直しの概要

【見直し後】

(百万円)

	事業収益	事業費用	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
2022年度通期（計画）	3,075	2,251	824	909	724
2023年度通期（目標）	2,957	2,691	266	256	204
2024年度通期（目標）	3,752	2,504	1,248	1,238	990

【見直し前】（2022年8月15日公表）

(百万円)

	事業収益	事業費用	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
2022年度通期（計画）	2,605	2,184	420	420	342
2023年度通期（目標）	3,069	2,675	393	403	327
2024年度通期（目標）	3,645	2,478	1,167	1,174	970

2. 修正の理由

当社は、最近の業績動向等について検討した結果、2022年2月14日に公表し、2022年8月15日に修正しました『事業計画および成長可能性に関する事項（2022年12月期～2024年12月期）中期経営計画2022-2024』の修正を行うことといたしました。

修正の背景は、主として、2022年12月期および2023年12月期におけるマイルストーン収入の増減によるものおよび昨今の為替相場の変動を勘案した結果、計画レートを1ドル125円から135円に修正する影響によるものです。

※本資料は、投資者に対する情報提供を目的として事業計画等を記載しており、投資勧誘を目的としたものではありません。
当社の事業計画に対する評価及び投資に対する決定は、投資者ご自身の判断において行われるよう、お願いいたします。

主な増減要因は、以下の通りです。

2022年12月期の事業収益につきましては、前回発表予想比470百万円（同18.1%）増加する見通しとなりました。これは主に、修正前の業績数値において、達成確率を勘案し2022年12月期と2023年12月期に250百万円ずつ事業収益に織り込んでいたP2X7受容体拮抗薬の第Ⅱ相臨床試験の開始によるマイルストーン収入4百万ドル（500百万円）を、今回のマイルストーン達成に伴い2022年12月期に全額計上することによるもののほか、昨今の為替相場の変動による影響額147百万円によるものであります。

事業費用につきましては、前回発表比66百万円（同3.1%）増加する見通しとなっております。

以上の結果、2022年12月期の業績予想を事業収益3,075百万円（前回発表予想値2,605百万円）、事業費用2,251百万円（同2,184百万円）、営業利益824百万円（同420百万円）、経常利益909百万円（同420百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益724百万円（同342百万円）に修正いたします。

2023年12月期の事業収益につきましては、前回発表予想比111百万円（同3.6%）減少する見通しとなりました。これは主に、前記P2X7受容体拮抗薬のマイルストーンが2022年12月期に達成されたため、2023年12月期の事業収益として織り込んでいた250百万円を減額することによるもの、および昨今の為替相場の変動による影響額138百万円によるものであります。

事業費用につきましては、前回発表比15百万円（同0.6%）増加する見通しとなっております。

以上の結果、2023年12月期の業績予想を事業収益2,957百万円（前回発表予想値3,069百万円）、事業費用2,691百万円（同2,675百万円）、営業利益266百万円（同393百万円）、経常利益256百万円（同403百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益204百万円（同327百万円）に修正いたします。

2024年12月期の事業収益につきましては、前回発表予想比106百万円（同2.9%）増加する見通しとなりました。これは主に、昨今の為替相場の変動による影響額106百万円によるものであります。

事業費用につきましては、前回発表比25百万円（同1.0%）増加する見通しとなっております。

以上の結果、2024年12月期の業績予想を事業収益3,752百万円（前回発表予想値3,645百万円）、事業費用2,504百万円（同2,478百万円）、営業利益1,248百万円（同1,167百万円）、経常利益1,238百万円（同1,174百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益990百万円（同970百万円）に修正いたします。

当社は、今回公表する事業計画の修正に基づき、当社の企業価値の向上を目指した事業活動を進めてまいります。今後、当社の事業環境の変化等により修正の必要性が生じた場合には、速やかに開示してまいります。

※修正箇所は、次ページ以降をご参照下さい。

以 上

※本資料は、投資者に対する情報提供を目的として事業計画等を記載しており、投資勧誘を目的としたものではありません。
当社の事業計画に対する評価及び投資に対する決定は、投資者ご自身の判断において行われるよう、お願いいたします。

(修正箇所一覧表)

修正箇所	修正前	修正後
今期の業績予想 および今後の業績目標（P7およびP55（P7と同一の内容を再掲））	<p>(※説明テキスト)</p> <p>2022年12月期は事業収益 <u>2,605</u> 百万円を見込む</p> <p>(※表内)</p> <p>計画 2022年12月期</p> <p>事業収益 <u>2,605</u></p> <p>事業費用 <u>2,184</u></p> <p>営業利益 <u>420</u></p> <p>経常利益 <u>420</u></p> <p>親会社株主に帰属する当期純利益 <u>342</u> 為替想定（米ドル/日本円） 120.00（上半期） <u>125.00</u>（下半期）</p> <p>目標 2023年12月期</p> <p>事業収益 <u>3,069</u></p> <p>事業費用 <u>2,675</u></p> <p>営業利益 <u>393</u></p> <p>経常利益 <u>403</u></p> <p>親会社株主に帰属する当期純利益 <u>327</u> 為替想定（米ドル/日本円） <u>125.00</u></p> <p>目標 2024年12月期</p> <p>事業収益 <u>3,645</u></p> <p>事業費用 <u>2,478</u></p> <p>営業利益 <u>1,167</u></p> <p>経常利益 <u>1,174</u></p> <p>親会社株主に帰属する当期純利益 <u>970</u> 為替想定（米ドル/日本円） <u>125.00</u></p>	<p>(※説明テキスト)</p> <p>2022年12月期は事業収益 <u>3,075</u> 百万円を見込む</p> <p>(※表内)</p> <p>目標 2022年12月期</p> <p>事業収益 <u>3,075</u></p> <p>事業費用 <u>2,251</u></p> <p>営業利益 <u>824</u></p> <p>経常利益 <u>909</u></p> <p>親会社株主に帰属する当期純利益 <u>724</u> 為替想定（米ドル/日本円） 120.00（上半期） <u>135.00</u>（下半期）</p> <p>目標 2023年12月期</p> <p>事業収益 <u>2,957</u></p> <p>事業費用 <u>2,691</u></p> <p>営業利益 <u>266</u></p> <p>経常利益 <u>256</u></p> <p>親会社株主に帰属する当期純利益 <u>204</u> 為替想定（米ドル/日本円） <u>135.00</u></p> <p>目標 2024年12月期</p> <p>事業収益 <u>3,752</u></p> <p>事業費用 <u>2,504</u></p> <p>営業利益 <u>1,248</u></p> <p>経常利益 <u>1,238</u></p> <p>親会社株主に帰属する当期純利益 <u>990</u> 為替想定（米ドル/日本円） <u>135.00</u></p>
事業収益計画の概要（P56）	<p>(※図（棒グラフ）)</p> <p>2022年</p> <p>事業収益 <u>2,605</u></p> <p>ロイヤルティ <u>1,554</u></p> <p>その他 <u>1,051</u></p> <p>2023年</p> <p>事業収益 <u>3,069</u></p> <p>ロイヤルティ <u>1,855</u></p> <p>その他 <u>1,214</u></p>	<p>(※図（棒グラフ）)</p> <p>2022年</p> <p>事業収益 <u>3,075</u></p> <p>ロイヤルティ <u>1,613</u></p> <p>その他 <u>1,462</u></p> <p>2023年</p> <p>事業収益 <u>2,957</u></p> <p>ロイヤルティ <u>1,919</u></p> <p>その他 <u>1,038</u></p>

※本資料は、投資者に対する情報提供を目的として事業計画等を記載しており、投資勧誘を目的としたものではありません。
当社の事業計画に対する評価及び投資に対する決定は、投資者ご自身の判断において行われるよう、お願いいたします。

修正箇所	修正前	修正後
	2024年 事業収益 <u>3,645</u> ロイヤルティ <u>2,007</u> その他 <u>1,638</u> (※説明テキスト) 2022年 テゴプラザンおよび動物薬の売上拡大により販売ロイヤルティで <u>1,554</u> 百万円を見込む その他、テゴプラザンの中国での上市によるマイルストーン受領 等で <u>1,051</u> 百万円を見込む 2023年 テゴプラザンを中心に上市品が堅調に伸び、販売ロイヤルティ <u>1,855</u> 百万円を見込む その他、導出済みプログラムのマイルストーンや契約一時金等で <u>1,214</u> 百万円を見込む 2024年 テゴプラザンの中国販売がさらに伸長し、販売ロイヤルティ <u>2,007</u> 百万円を見込む その他、テゴプラザン（日本）を含む契約一時金等で <u>1,638</u> 百万円を見込む	2024年 事業収益 <u>3,752</u> ロイヤルティ <u>2,074</u> その他 <u>1,678</u> (※説明テキスト) 2022年 テゴプラザンおよび動物薬の売上拡大により販売ロイヤルティで <u>1,613</u> 百万円を見込む その他、テゴプラザンの中国での上市によるマイルストーン受領等で <u>1,462</u> 百万円を見込む 2023年 テゴプラザンを中心に上市品が堅調に伸び、販売ロイヤルティ <u>1,919</u> 百万円を見込む その他、導出済みプログラムのマイルストーンや契約一時金等で <u>1,038</u> 百万円を見込む 2024年 テゴプラザンの中国販売がさらに伸長し、販売ロイヤルティ <u>2,074</u> 百万円を見込む その他、テゴプラザン（日本）を含む契約一時金等で <u>1,678</u> 百万円を見込む

※修正後の『事業計画および成長可能性に関する事項（2022年12月期～2024年12月期）中期経営計画2022-2024』の修正箇所を抜粋したものを次ページ以降にお示しします。今回の修正箇所には下線を付しております。

※ 将来の事象に関わる記述に関する注意

業績予想につきましては、発表時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後起こりうる様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

※本資料は、投資者に対する情報提供を目的として事業計画等を記載しており、投資勧誘を目的としたものではありません。
 当社の事業計画に対する評価及び投資に対する決定は、投資者ご自身の判断において行われるよう、お願いいたします。



RaQualia
innovators for life

ラクオリア創薬株式会社

【2022年11月17日修正】

事業計画および成長可能性に関する事項 (2022年12月期～2024年12月期)

中期経営計画2022-2024

2022年2月14日 東証ジャスダック グロース (※) : 4579

※ 2022年4月の市場区分変更に伴い東証グロースとなります。

ご注意 : 本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また、本資料内の免責事項を必ずご参照ください。



修正前後の差異に関するご説明

事業計画および
成長可能性に
関する事項

RaQualia
innovators for life

単位：百万円

見直し後 <small>2022年11月17日修正</small>	事業収益	事業費用	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
2022年度通期（計画）	3,075	2,251	824	909	724
2023年度通期（目標）	2,957	2,691	266	256	204
2024年度通期（目標）	3,752	2,504	1,248	1,238	990

見直し前 <small>2022年8月15日修正</small>	事業収益	事業費用	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
2022年度通期（計画）	2,605	2,184	420	420	342
2023年度通期（目標）	3,069	2,675	393	403	327
2024年度通期（目標）	3,645	2,478	1,167	1,174	970

2022年

事業収益が前回発表比470百万円（同18.1%）の増加。マイルストーン収入の増加を見込む。事業費用は前回発表比同66百万円（同3.1%）の増加。営業利益および経常利益は、それぞれ、前回発表比403百万円（同96.0%）および同488百万円（同116.2%）の増加

2023年

事業収益が前回発表比111百万円（同3.6%）の減少。マイルストーン収入の減少を見込む。事業費用は前回発表比同15百万円（同0.6%）の増加。営業利益および経常利益は、それぞれ、前回発表比127百万円（同32.4%）および同147百万円（同36.5%）の減少

2024年

事業収益が前回発表比106百万円（同2.9%）の増加。事業費用は前回発表比同25百万円（同1.0%）の増加。営業利益および経常利益は、それぞれ、前回発表比81百万円（同7.0%）および同63百万円（同5.4%）の増加



RaQualia
innovators for life

事業計画

事業目標・収益計画・事業費用・成長戦略等

※修正後の『事業計画および成長可能性に関する事項（2022年12月期～2024年12月期）中期経営計画2022-2024』の修正箇所（P7（同一内容をP55に再掲）、およびP56）を抜粋したものを次ページ以降にお示しします。今回の修正箇所には下線を付しております。



今期の業績予想および今後の業績目標

事業計画および
成長可能性に
関する事項

2022年12月期は**事業収益3,075百万円**を見込む

2022年から2023年にかけては、2つのプログラムで**自社開発を進めるため事業費用が増加**するが、安定的な事業収益の確保により**3期連続の営業黒字**を見込む

単位：百万円

	実績	計画	目標	
	2021年 12月期	2022年 12月期	2023年 12月期	2024年 12月期
事業収益	2,776	<u>3,075</u>	<u>2,957</u>	<u>3,752</u>
事業費用	2,068	<u>2,251</u>	<u>2,691</u>	<u>2,504</u>
営業利益	707	<u>824</u>	<u>266</u>	<u>1,248</u>
経常利益	863	<u>909</u>	<u>256</u>	<u>1,238</u>
親会社株主に 帰属する 当期純利益	755	<u>724</u>	<u>204</u>	<u>990</u>
為替想定 (米ドル/日本円)	110.00	120.00 (上半期) <u>135.00 (下半期)</u>	<u>135.00</u>	<u>135.00</u>



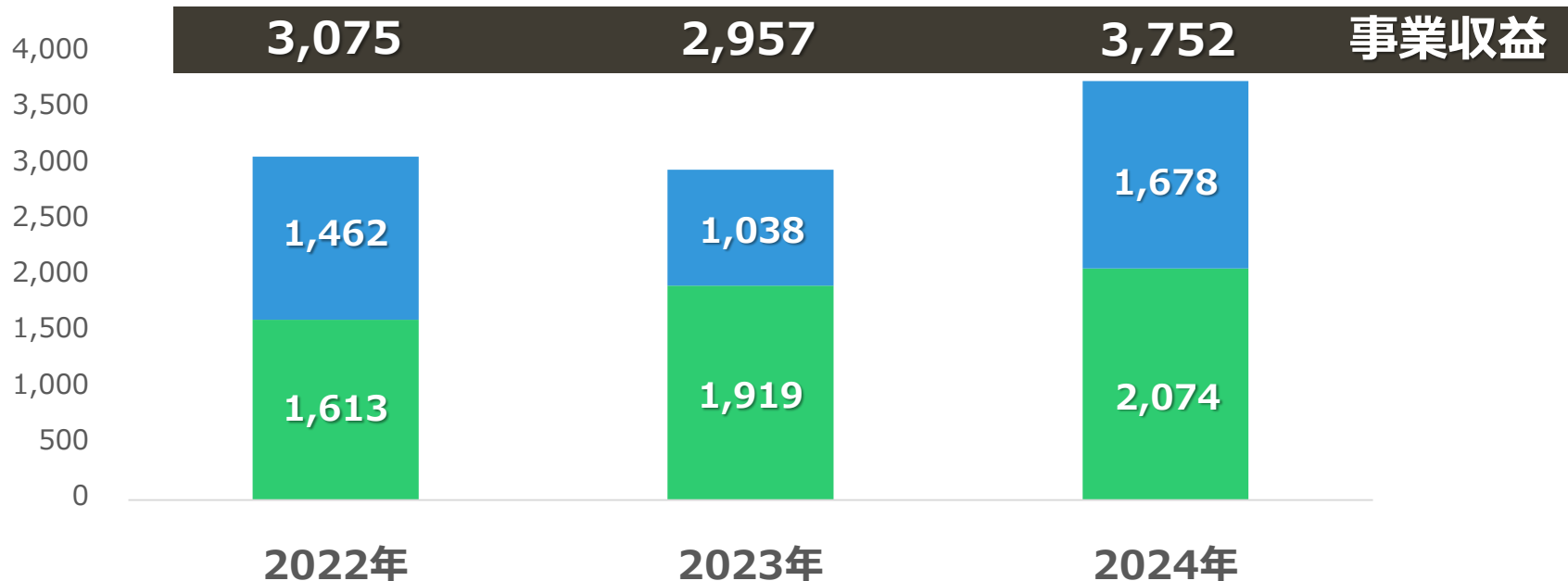
事業収益計画の概要

事業計画および
成長可能性に
関する事項

RaQualia
innovators for life

■ ロイヤルティ ■ その他（契約一時金・マイルストーン）

単位：百万円



2022年

テゴプラザンおよび動物薬の売上拡大により販売ロイヤルティで1,613百万円を見込む
その他、テゴプラザンおよびP2X7受容体拮抗剤のマイルストーン等で1,462百万円を見込む

2023年

テゴプラザンを中心に上市品が堅調に伸び、販売ロイヤルティ1,919百万円を見込む
その他、導出済みプログラムのマイルストーンや契約一時金等で1,038百万円を見込む

2024年

テゴプラザンの中国販売がさらに伸長し、販売ロイヤルティ2,074百万円を見込む
その他、テゴプラザン（日本）を含む契約一時金等で1,678百万円を見込む